

(単位：円)

収入	わが家の家計				となりの家計	市の決算
	費目名		今月 (H24)	先月 (H23)	類似団体 (H23)	科目名
	給料	基本給	130,634	131,345	155,262	市税、使用料及び手数料、諸収入など
		諸手当	223,649	205,631	206,287	地方交付税、国・県支出金、各種交付金など
		小計	354,283	336,976	361,549	
	前月からの繰り越し		9,052	7,642	13,231	繰越金
	預金の取り崩し		27,838	18,419	7,177	繰入金
	借金		97,197	63,320	37,308	市債
	合計		488,370	426,357	419,265	

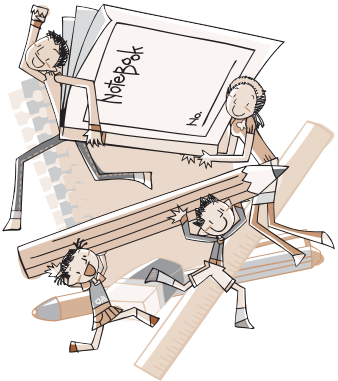
支出	(単位：円)					
	わが家の家計			となりの家計	市の決算	
	費目名		今月 (H24)	先月 (H23)	類似団体 (H23)	科目名
	義務的な経費	食費	78,025	81,203	69,188	人件費
		教育費・医療費	62,261	61,475	74,673	扶助費
		ローン返済	48,171	46,914	46,117	公債費
		小計	188,457	189,592	189,978	
出	サークル等各種会費		63,967	41,542	37,868	補助費等
	光熱水費		54,262	53,165	53,528	物件費
	子どもへの仕送り		49,659	50,172	40,783	繰出金
	耐久消費財の購入		97,688	74,743	51,281	投資的経費
	家の修繕費		2,915	2,884	4,173	維持補修費
	株式投資		2,352	1,308	8,427	投資及び出資金等
	預金		21,708	1,108	15,998	積立金
	その他雑費		0	0	14	前年度繰上充用金
	合計		481,008	414,514	402,050	

残高	(単位：円)					
	わが家の家計			となりの家計		
	費目名	今月 (H24)	先月 (H23)	類似団体 (H23)		
	借金残高	546,542	487,762	394,931		
	預金残高	64,269	65,837	100,031		

※普通会計
一般会計・住宅新築資金等貸付事業特別会計・墓園事業特別会計・土地区画整理事業特別会計の4会計と簡易水道事業特別会計の一部をあわせたものです。

家計の特徴	
〈収入〉	〈支出〉
今月の給料が増加しました。これが諸手当が一時的に増えたためですが、今後は減少となる見込みです。 また、今月は土地開発公社の解散経費や保健福祉センター建設などに伴って借金や預金の取り崩しが増えています。	サークル等各種会費が大幅に増えています。これは土地開発公社の解散経費が一時的に増加したためで、来月は減少となる見込みです。 また、今月は耐久消費財の購入も増加しました。これは、災害などに備えるための耐震改修工事や保健福祉センター建設などを行なったためです。

ここでは、市の普通会計(※)の決算を一般家庭の家計(わが家の家計)に置き換えてみるとどうなるのかについて説明します。
わが家の家計における金額は、市の決算額を年度末の市の住民基本台帳登録者数(平成24年度末 66,657人)で割ったもので、「今月」とは平成24年度を表現しています。



財政状況を一般家庭の家計にたとえると

平成24年度 決算報告

市では毎年、予算・決算などの財政状況を公表し、市民の皆さんから納めていただいた税金がどのように使われているのかをお知らせしています。

今回は、平成24年度決算の概要などをお知らせします。
【財政課】

一般会計決算の状況

歳入総額 320 億円

地方交付税 77 億円 (24.1%)
人口や税収などに応じて国から配分されるお金

市税 69 億円 (21.5%)
前年の所得や所有する土地などに応じて市民から納めてもらう税金や会社からの法人税

市民1人当たりの負担約10万円
平成24年度末住民基本台帳登録者数より算出

市債 64 億円 (20.0%)
財政収入の不足を補う借入金

国庫支出金 31 億円 (9.7%)
国から配分されるお金

繰入金 18 億円 (5.6%)
貯金や他会計からの繰入金

県支出金 16 億円 (5.0%)
県から配分されるお金

その他 45 億円 (14.1%)
ごみ処理手数料や寄付金、施設使用料や分担金など

市民1人当たりのサービス約48万円
平成24年度末住民基本台帳登録者数より算出

あやの台小学校や保健福祉センターの新築、小中学校の耐震補強工事などにより、前年度と比べ約20億円増加しました

景気悪化などによる法人税の減少や、評価替えに伴う固定資産税の減少などにより、前年度と比べ約2億円減少しました

橋本市土地開発公社を解散するため、金融機関からの借金(約13億円)を肩代わりしたことなどにより、前年度と比べ約14億円増加しました

財源不足を補う借金や橋本市土地開発公社を解散するため、その負債分の借り入れを行い、前年度と比べ約24億円増加しました

公共下水道事業特別会計へ約10億円、介護保険と後期高齢者医療特別会計へそれぞれ約8億円の繰り出しを行いました

平成24年6月22日および7月7日の豪雨災害の復旧事業費などを支出しました

あやの台小学校建設に伴う南海電鉄からの開発協力金(寄付金)がありました

歳出総額 316 億円

普通建設事業費 59 億円 (18.7%)
道路や施設の建設、また大規模改修経費など

人件費 52 億円 (16.4%)
職員給与・議員報酬など

補助費等 42 億円 (13.3%)
各種団体などに対する補助金・負担金など

扶助費 41 億円 (13.0%)
児童・高齢者・生活困窮者を援助するなど住民福祉を支えるための経費

繰出金 35 億円 (11.1%)
特別会計や基金へ支出したお金など

公債費 30 億円 (9.5%)
借金(市債)の償還金

その他 57 億円 (18.0%)
物件費・維持補修費・災害復旧事業費など

平成24年度 一般会計の主な事業

市民の皆さんが安心して暮らせる

安心・安全なまちづくり

保健福祉センター建設事業

13億4,068万4千円

平成25年1月にオープンした保健福祉センターを建設しました。センターには、伊都地方休日急患診療所が移転し、休日急患歯科診療所も開院しました。



あやの台小学校新築事業

12億7,542万円

住宅開発により子どもが増加しているあやの台地区に小学校（平成25年4月開校）を新築しました。



橋本小中一貫校整備事業

8億9,006万4千円

耐震対応により、橋本小学校を橋本中学校敷地内に移転新築（平成25年4月開校）しました。併せてこれまで取り組んできた小中一貫教育をさらに推進します。



三石保育園新築移転事業

3億8,546万円

土砂災害の危険から保育園児の安全を確保するため、三石保育園を新築移転し、公設民営方式により、平成25年4月に開園しました。

救助工作車整備事業

8,622万6千円

迅速な救助活動を実施するため、救助工作車を更新しました。

がん検診等成人保健事業

1億971万3千円

成人を対象として、心身の健康や生活習慣病予防に関する教育、また、日本人の死因の1位である「がん」の早期発見を目的とした検診等を実施するための経費を支出しました。2月からは保健福祉センターでの集団検診を開始しました。



▶がん撲滅に向けて、市内各所で街頭啓発などを実施しました



学童保育所整備事業

5,666万2千円

あやの台小学校新築事業および橋本小中一貫校整備事業に合わせて、放課後児童の安全確保と健全育成を目的に学童保育所を整備しました。

まちに活気を呼び込む

活力みなぎるまちづくり

若者が定住できるまちづくり

企業誘致事業

7億7,145万5千円

本市における雇用の拡大および税収確保のため、紀ノ光台Sゾーン用地の造成などを行いました。



▶企業立地が進む「紀ノ光台Sゾーン用地」

新婚世帯住宅取得補助金

1,740万円

若年層の定住を促進し、本市の人口維持および地域活性化を図るため、市内で住宅を取得した満40歳未満で、婚姻の日から3年を経過しない新婚夫婦に対し、最高で60万円を補助しました。平成24年度は41件の申請がありました。

運動公園テニスコート整備事業

4,148万1千円

橋本市運動公園内にあるテニスコート12面のうち、6面の全面改修を実施しました。残りの6面は平成25年度に実施する予定です。



歴史・文化遺産や緑潤う田園都市を守る

緑のまちづくり

生ごみ堆肥化・減量化

集団実施奨励金

1,668万4千円

橋本市衛生自治会との連携により、皆さんの家庭から排出される生ごみを堆肥化・減量化し、可燃ごみの収集回数削減に協力いただける区・自治会に対して奨励金を支出しました。

黒河道整備事業

209万3千円

高野七口の一つである黒河道の写真測量・倒木の撤去・道の補修など、国史跡指定申請に向けての準備を行いました。

花と緑のリサイクル事業

636万5千円

循環型社会の実現に向け、生ごみから堆肥をつくり、花や野菜の栽培に利用していくためのシステムづくりに取り組んでおり、花と緑のリサイクル花まつりなどの経費を支出しました。



◀春の恒例イベント「花まつり」は、昨年度も大盛況

公営企業会計の決算状況

民間企業のように、利用料金などの収益で運営する会計

水道

収益的収支の状況

収入 14億円 **支出** 13億円 **差し引き** 1億円

資本的収支の状況

管路更新や緊急遮断弁設置による耐震強化など
収入 3億円 **支出** 9億円 **差し引き** △6億円

病院

収益的収支の状況

収入 62億円 **支出** 64億円 **差し引き** △2億円

資本的収支の状況

電子カルテシステムの更新など
収入 8.6億円 **支出** 11.1億円 **差し引き** △2.5億円

特別会計の決算状況

一般会計とは別に、独立して経理を行う会計

国民健康保険

疾病、負傷などをした場合に必要な給付を行う医療保険

収入 75.4億円 **支出** 72.6億円 **差し引き** 2.8億円

農業集落排水

市内4カ所にある浄化センターの維持管理

収入 1.1億円 **支出** 1.1億円 **差し引き** 0円

簡易水道

西畑・九重・嵯峨谷・竹尾地区の飲料水供給

収入 0.2億円 **支出** 0.2億円 **差し引き** 0円

土地区画整理

橋本駅前地域の区画整理事業

収入 6.2億円 **支出** 5.6億円 **差し引き** 0.6億円

住宅新築資金等貸付

過去に貸し付けを行なった新築費用などの資金回収

収入 0.6億円 **支出** 0.5億円 **差し引き** 0.1億円

介護保険

要介護認定業務および介護保険サービスの給付

収入 58.2億円 **支出** 56.9億円 **差し引き** 1.3億円

公共下水道

家庭などから出た汚れた水の処理・浄化

収入 18.6億円 **支出** 18.2億円 **差し引き** 0.4億円

訪問看護

自宅で療養する人への医療処置と看護、療養指導と介護指導

収入 0.7億円 **支出** 0.6億円 **差し引き** 0.1億円

駐車場

橋本駅前のコインパーキングの管理運営

収入 321万円 **支出** 260万円 **差し引き** 61万円

後期高齢者医療

原則 75歳以上の高齢者医療制度に関する各種受付、保険証の交付

収入 13.6億円 **支出** 13.4億円 **差し引き** 0.2億円



墓園

赤塚・名倉地区にある墓園の維持管理

収入 0.2億円 **支出** 0.2億円 **差し引き** 0円

財政指標

財政状況が良好であることを示す指標として財政健全化判断比率（右表）があります。これらの比率は4つの指標からなり、いずれも危険信号とはなっていませんが、下記の指数などでは、和歌山県内他市と比べて市税など自力で得る収入が少なく、お金の使い道の自由度が低くなっています。

財政力指数 0.493
標準的な行政サービスを行うためのお金を自ら賄える割合

県下9市中
6位
平均 0.527

経常収支比率 98.4%
市税など経常的に入るお金が借金の返済など義務的な経費に充てられる割合

県下9市中
7位
平均 94.9%

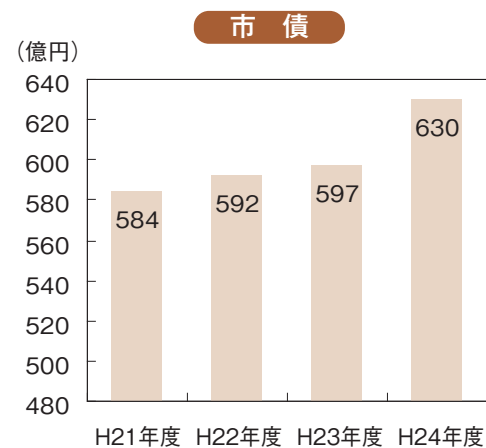
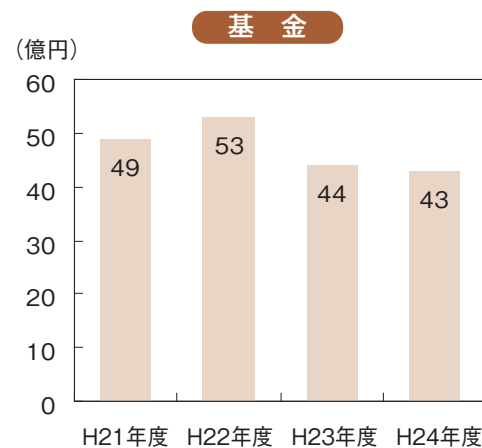
財政健全化判断比率

指標	内容	橋本市	早期健全化基準 ^(※)
実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字の割合	赤字なし	12.75%
連結実質赤字比率	すべての会計の赤字の割合	赤字なし	17.75%
実質公債費率	年間の借金返済額の割合	12.1%	25%
将来負担比率	将来に負担が見込まれる負債の割合	156.6%	350%

※この基準を超えると、健全化計画を作成し、財政状況の立て直しに取り組む必要があります。

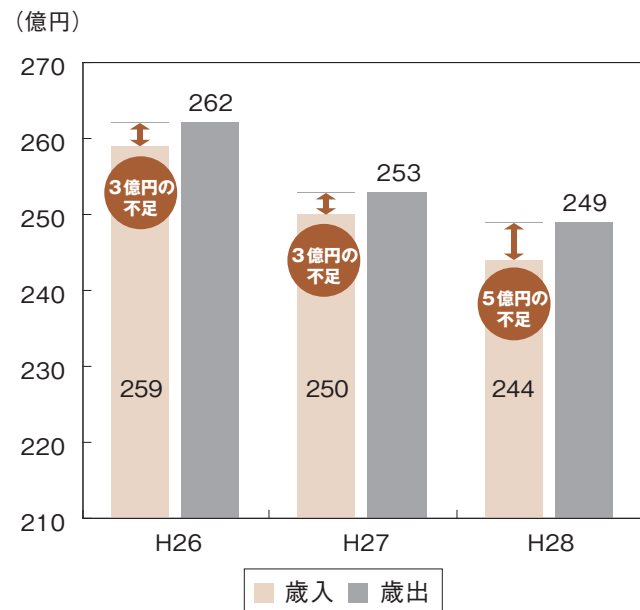
危険信号

基金と市債



特定事業の実施や、財源不足のときに使う市の貯金（基金）は、前年度と比較して1億円減少し、43億円（うち財政調整基金13億円）となりました。
また、市の借金（市債）は、前年度と比べて33億円増加し、630億円となりました。

今後の見直し



高齢化や人口減少、また景気低迷などにより、市税などの収入が伸びない一方で、医療や福祉などにかかるお金が増え、厳しい財政状況が続きます。

お金が足りない状況が今後も見込まれるため、
お金の使い方や集め方の見直しを進めていきます

- 市役所自らが努力して節約
事務事業を見直し、さらなる経費削減に努めます
- サービスの見直し
コストや利用者の負担に見合ったサービスの提供を行います
- 事業の重点化
公共事業などは、計画に沿って優先度の高いものから行います
- 財産の有効活用
市有地や公有財産の売却を進めます